

ぼくらの知らない  社会

# お金のしくみ



お金は…  
**便利な道具？ 不幸のはじまり！?**  
それとも

# 公然の秘密とされてきた 「お金のしくみ」<sup>かね</sup>

紙幣が生まれた歴史を知れば、  
お金の見方が変わるかも……。

多くの人はお金のことを知つて  
いるようで実はあまり知らない。



私たちは、毎日のようにお金を使って生活しています。お金は便利なものです。お金がないと精神的に苦しく感じる人も多いかもしれません。しかし、もともと今のようなお金のシステムはありませんでした。昔人々は、物々交換や貝がら、木、竹、石、陶器、金、銀、銅などできったお金で必要なものを入手していました。

■秘密1■ 現在ぼくらが使っている紙幣は「日本銀行券」硬貨は「日本国」と表記されている。  
紙幣を発行しているのは国ではなく日本銀行なんだ。

# 紙幣は金の預り証だった

今の紙幣は金と交換できない  
ただの紙きれ。



昔の紙幣は金といつでも交換できた。

紙幣が発明される前、ヨーロッパ諸国では、国王や支配者が金・銀・銅でできた延べ棒やコインを発行し、国民はそれらで取引をしていました。なかでも価値の高い金は、盗まれたり、柔らかいために擦り減る恐れがあるため、人々は金庫を持つ金庫番（金細工職人・両替商）に自分の金を預け、その証明として「預り証」を受け取りました。

**秘密2** のちに、人々は預り証でじかに取引をはじめる。紙幣のはじまりだ。金は金庫番に預けたまま、タダ同然の紙が流通した！

# 「利子」をつけて貸し出した

紙幣の出回る量は限られているので返せなくなる人が必ず生まれる。



利子がついているので元本+αで返さなくてはならない。

国民が、自分の金<sup>きん</sup>を引き取りにこなくなつたため、金庫番は有り余るほどの金<sup>きん</sup>を手にしました。金庫番はある重大なことに気がつきます。「人々が一度に金<sup>きん</sup>を引き取りにくることはない。ならば、預り証を勝手に発行してもばれないぞ」こうして、金<sup>きん</sup>を預けていない人にも発行し、利子をつけて紙幣を貸すようになったのです。これが銀行のはじまりです。

■秘密3■ 銀行家は、国民だけでなく戦費が必要な国王にも貸し出した。やがて、王族と血縁を結び、銀行家から貴族へと地位をあげた。

# む ゆう 無から有を生む銀行家

サブプライムローンなど……  
現代でも同じことをやっている。



人々が返せないことを  
知りながら貸すこともあった。

貴族となった銀行家は、手持ちの金より多くの紙幣を発行する権利を国王に認めてもらいます。つまり、**ただの紙切れに価値をつけて**、人々にどんどん貸し出す権利を手に入れたわけです。人々からは、家・店舗・車・貴金属・宝石・家畜など、**実質的に価値のあるものなら何でも担保にとっていきました**。それらはすべて銀行家の財産になっていきました。

**秘密4** これが現在でも行われている  
銀行と紙幣のしくみ。国を動かしているのは  
国王や政府ではなく、その上にいる銀行家だ！

# 中央銀行は**国有**ではない？

民間が所有できるなんておかしい。

こくゆう

「国の紙幣を発行する」重要な機関



中央銀行とは、国の通貨を発行する機関です。ですが、ほとんどの国では“**100%国有**”の機関ではありません。アメリカの中央銀行である連邦準備制度理事会(FRB)はロスチャイルド一族などの国際銀行家が設立しました。その他の国の中銀も一部の国際銀行家の影響下にあります。つまり、ほとんどの国の政府は、紙幣を刷る権利=通貨発行権を持っていないのです。

■秘密5■ 日本銀行は株式会社。持ち株は、政府が55%所有し、残り45%は非公開。ロスチャイルド家が20～40%所有しているとも……。

# 紙幣を発行する権利を取り戻そう！



アメリカでは「END THE FED」（中央銀行をつぶせ）という、紙幣を発行する権利を国に取り戻す活動が、市民によって活発になってきています。



市民活動はテレビのニュースで取り上げられています。アメリカ市民はお金のカラクリに気付き始めたのです。

「国の借金が〇兆円になった」「借金苦から自殺した」テレビではお金にまつわる暗いニュースであふれています。また、多くの人がお金を持つことに大きな価値を見出しています。しかし、お金のしくみは詐欺みたいなものです。誰かが大金持ちになれば、そのぶん誰かが借金をかかえなくてならないのです。絶対に不幸が生まれるシステムになっています。世界中の人々が真実を知り、「お金とは何か？」と、考える時にきます。これからは、ひとりひとりがお金に翻弄されない生き方を探っていく時代なのかもしれません。



## THINKER mini book シリーズ

1. ぼくらの知らない環境問題  
「ケムトレイル」
2. ぼくらの知らない薬害  
「子宮頸がんワクチン」
3. ぼくらの知らない社会  
「お金のしくみ」
4. ぼくらの知らない世界  
「戦争のしくみ」
5. ぼくらの知らない現実  
「人口を減らすってホント？」

大きな問題をまえに個人ができることは、ひとりでも多くの人に知ってもらうことです。「伝える」活動にご協力ください。そのツールとして、この mini book をご利用ください。当サイトより無料ダウンロードできます。

すべての考える人々へ

<http://www.thinker-japan.com>